



ウッディな外装に「MARINE-J 80's CAFE」のネームが浮かび上がる

# サロンクルーザーのキャビンを再現 カフェ&バー

# MARINE-J 80's CAFE

NO. 1 5 2

東京・港区赤坂通りに面したレンガ色の瀟洒なマンションの1階。ボート好きにはたまらないカフェ&バー

「MARINE-J 80's CAFE」がオープンした。船窓が設えられたチークの扉を開けると、そこに、70フィートクラスのサロンクルーザーのキャビンを再現した世界が広がる。

## ボートファン垂涎のカフェ&バー

オーナーの朽木元さんは、横浜市中区でプレジャーボートの用品を扱う株式会社プロジェクトケーの経営者でもある。

「ボートは、一般の人にとっては特別なものです。また、ボートのオーナーであったとしても、ごく一部の人を除けば、年に数回しか愛艇に行くことができないのが現状でしょう。そんなことから、ボート、海、クルージングという世界を陸の上に再現してみたかったのです」

ボートはある意味、日常の世界か

ら離れて心身ともに癒せる場所で、愛艇のキャビンほど心からくつろげるスペースはない。ボート乗りにとって居心地のよい店をと考えぬいた結果、サロンクルーザーのキャビンを再現したのだという。

朽木さんのさらなるこだわりは、店のほとんどのインテリアに実際のプレジャーボートの備品を用いていることだ。テーブル席の椅子はフライブリッジに据えられるシート、L字型のカウンターの角にはコンパスが埋め込まれ、椅子は簡易トローリングチェアであったりする。また、壁にはボートのクリートやレール、トイレにはシ

ンク、傘立てはロッドホルダーという凝りようだ。

「湘南や横浜には、マリン感覚に溢れたレストランやカフェバーが多く存在します。でも、東京には本場にボート好きの人が満足できる雰囲気をもったお店がありません。ここ赤坂は古くから一流の社交場として知られた町です。高級ボートのサロンを再現した店だからこそ、赤坂に出店することにこだわりました」

「MARINE-J 80's CAFE」と冠するだけあり店内に流れる音楽は80年代のミュージックシーンに登場した名曲の数々。ドリンクメニューを見ると、ウイスキーはすべて12年もの。ワインはボルドーを中心に手軽なものからビンテージものまで揃っている。焼酎やカクテルも豊富だ。気になる価格はウイスキーがシングルで800円から、ワインもフルボトルで4,500円からという手軽さ。料理は、つまみ



(右) 70フィートクラスのボートのサロンを再現した店内。いたるところにボートの織装品が配されている  
(左) カウンターのコーナーに、さりげなく埋め込まれたコンパス

から、サラダ、パスタ、メインまで、バラエティに富んでいる。

朽木さんは、この店を単なるカフェ&バーとしてだけでなく、マリンの発信基地としても利用してもらいたいという。店の本棚には舵やボート俱楽部をはじめとしたプレジャーボート専門誌のバックナンバーが並び、ボートメーカーのカタログや航海計器のカタログが常設されるコーナーもある。これは、一人で飲みに行っても飽きることではない。海の仲間と行けば、まるでボートのキャビンで語り合っている気分にはたれる。願ってもない店の誕生だ。

「気軽に何度も足を運んでもらえるような店にしたいですね。海を語らう場として、多くのシーマンから愛される店になればと考えています」



1. 子羊のロースト 1,600円  
グリル、オープン料理もお酒に合うものが多い。ローストは他に鴨のロースト(1,600円)も人気だ
2. 海の幸のグリル 1,000円  
広島産の牡蠣や地蛸など季節に応じて、チーズ焼きにするグリル料理
3. 合鴨のローストバストラミのサラダ 1,000円  
サラダは他にトマトとタラモのサラダ(850円)、帆立貝と海草のヘルシーサラダ(1,000円)など
4. ドリンクメニューは多彩に揃う。特にワインは常時10種類100本ほどストックされている



壁にはポイント備品が、あたかもオブジェのような感覚で飾られている

トイレとシンクは本物のボートのヘッドを再現する

●この記事に関するお問い合わせは

## MARINE-J 80's CAFE

東京都港区赤坂6-13-6 赤坂キャステル1階

TEL:03-3583-0641

営業時間:18:00-4:00(AM)日祝祭日休

[www.marine-j.com/akasaka/](http://www.marine-j.com/akasaka/)

(12名様以上パーティー貸切可・客室定員22名・1名予算3,000円~5,000円)

